

【入試ガイドブック_〈問3〉】

2024 年度入試 十文字学園女子大学 教育人文学部

文芸文化学科 総合型選抜
課 題（小論文）

【注意事項】

- 1 開始後、所定欄に受験番号と氏名を記入してください。
- 2 各自が自由に考えた題名を書いてください。
- 3 小論文用紙は、横書きで記述してください。
- 4 文字数は 720 字以上 800 字以内です。

次の新聞記事を読み、多様な言語による図書・絵本を手にする環境づくりについて、あなたの考えを 720 文字以上 800 文字以内で論じてください。内容にふさわしい題名もつけてください。

2,655 冊、ハングルもタイ語も (新宿区立大久保図書館)

明治通りとの交差点を過ぎると、ハングルや「韓国家庭料理」などと書かれた看板が目に入ってきた。コリアンタウンとして知られるエリアに入った。ここに珍しい図書館があると聞き、立ち寄った。

新宿区立大久保図書館の特徴は外国語で書かれた本の蔵書数だ。昨年 4 月時点の外国語の本は 2,655 冊に上り、言語数は 33 を数える。

館長の米田雅朗（まさお）さんは「母語の本がなくて寂しい思いをしないよう、こつこつそろえてきました」と話す。数年前、あるスタッフがネパール人の利用者に言われた言葉を聞き、その思いを強くした。「『図書館に自国の本が 1 冊でもあると、この街に受け入れられていると感じて、うれしい』と話されたんです」

地域の小学校や幼稚園には外国にルーツを持つ子どもが多い。「新しくタイ出身の子が入った」と聞くと、タイ語の本を買い足した。蔵書の言語数はここ数年で 10 ほど増えた。

最近では正月に合わせ、韓国人の子どもが母国の伝統行事を紹介する本を借りる光景も見られる。「母国の文化や言語に触れられる。ほっとできるような場所になれば」と米田さんは願っている。

『朝日新聞』2022 年 1 月 8 日、夕刊